

特集

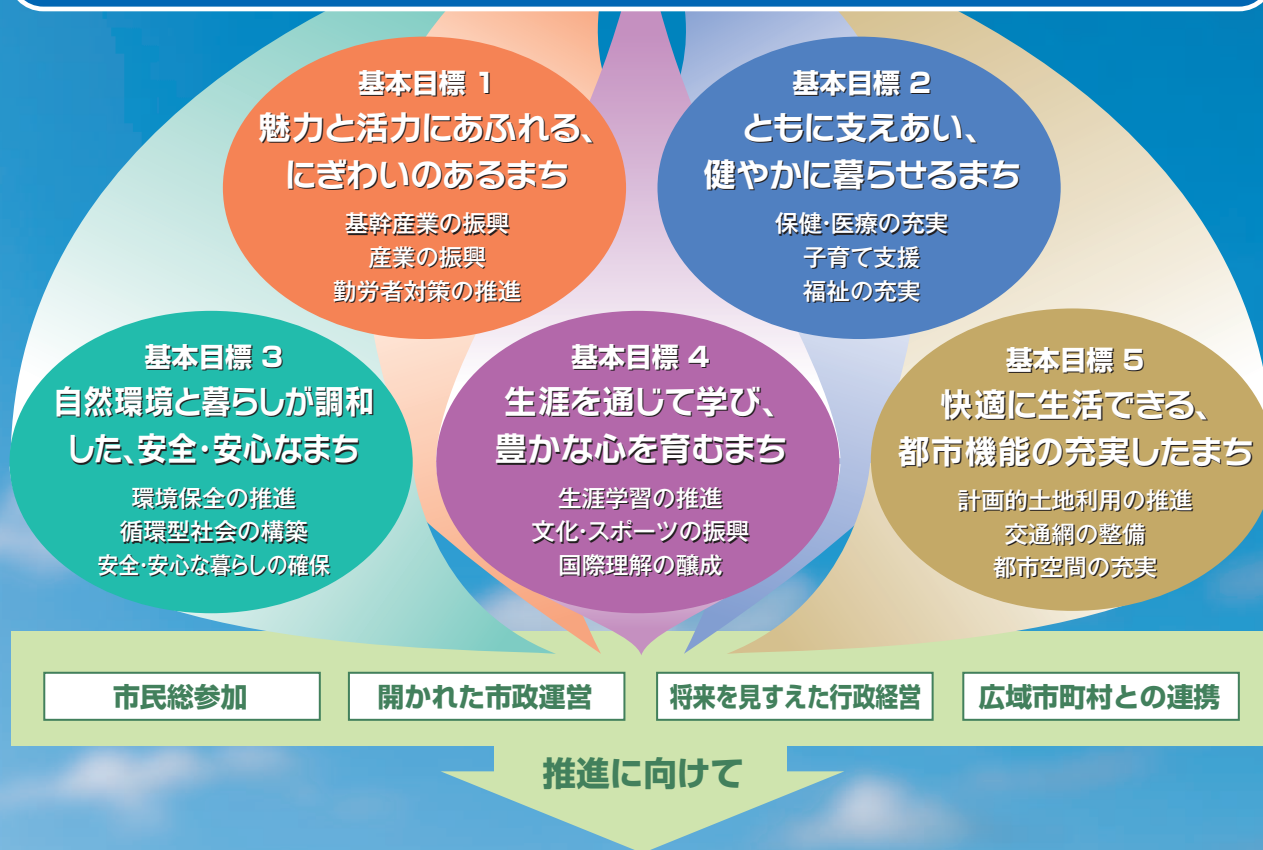
元気なおかやへ

未来のいしずえとなる事業が進展

平成25年度は、第4次岡谷市総合計画前期基本計画の最終年。これまで実施してきた施策の成果が求められるのはもちろん、後期基本計画へ目標をつなぐ大切な年となります。また、全力で道筋をつけてきた新病院建設、新消防庁舎建設、湖周地区ごみ処理施設整備などの事業は、目に見えるかたちで動きだし、安全・安心への基盤整備が大きく進展する重要な時期を迎えます。

さあ「まちの熟度を高めながら、未来を展望する年」の始まりです。厳しい財政状況にあればこそ、少子高齢化や人口減少といった状況に注視し、将来を見すえた対応策を練り、効果を検証し、既存事業の再構築を行って、特色あるまちづくりに取り組む必要があります。おかやにいま、真に必要な事業は何か…市は、選択と集中のもと見きわめた大切な事業を着実に実行し、市民一人ひとりが夢を描き、健康でいきいきと暮らせる、たくましく活力のある岡谷市に向け、歩みを進めていきます。

第4次岡谷市総合計画 5つの基本目標



みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷

新年度「6つの重要施策」

「新病院建設事業」

平成27年5月の新病院開院に向け、今年6月頃から地上6階、地下1階の建物本体工事が始まります。

免震構造を含む地下1階（一部地下2階）と地上1階と2階の構造体部分まで、本体工事の約20%の工事を進める予定です。

また、周辺道路整備として、市役所と病院の間の「間下東街道線整備事業」に着手し、さらにその道路から、病院、図書館に接続する市道の整備事業に取り組みます。



「新消防庁舎建設事業」

平成26年度中の完成をめざし、中間免震構造を含む地上3階の建物本体工事に7月から着手します。用地整地の後、車庫棟および1階部分の工事に入り、年度内に本体工事の約30%を進める計画です。

また、平成27年度の消防・救急無線のデジタル化のため、新消防庁舎敷地内に約30メートルのデジタル無線アンテナ塔の設置に着手します。



「製糸関連施設整備事業」

新糸糸博物館は、養蚕・製糸業が培った岡谷の文化、歴史、先人の偉業とともに、新たなシルク文化を岡谷ブランドとして、全国に発信する役割を担い、平成26年夏の開館に向け、旧農業生物資源研究所の改修を中心に整備を行います。今年度は、建物の改修工事と展示に関する工事を実施します。



「新美術考古館整備事業」

歴史と芸術に触れる文化の発信拠点として、また、まちなかのにぎわいの創出に貢献する交流拠点として、11月3日文化の日の開館をめざして、改修工事や「開館記念事業」の準備を進めます。開館記念には、宇都宮美術館の協力を得て、日本を代表する画家の「小磯良平版画展」を予定しています。

開館後は、美術や考古の関係者をはじめ、周辺商店街のみなさんの意見をお聞きしながら、イベントなどの検討を行い、文化を核にしたまちづくり、にぎわいの創出に取り組みます。



「湖周地区ごみ処理施設整備事業」

事業方式をDBO方式に決定し、11月からは、新ごみ処理施設建設に向けて、現在の岡谷市清掃工場の取り壊しと造成工事を行います。新施設の完成までの間のごみ処理については、諏訪市、下諏訪町の清掃センターでの処理を中心に、2市1町で協力して行っています。

新施設が整備されるまでの間、市民のみなさんに不便のないように、仮設でごみの預かり所を設置します。

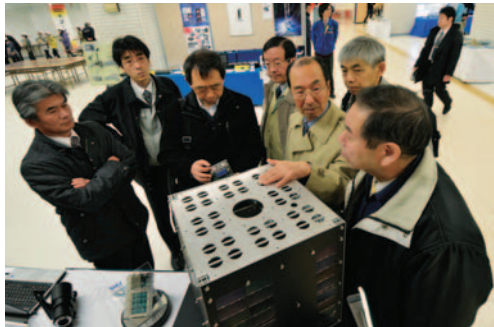


「岡谷市看護専門学校整備事業」

平成26年4月の開校をめざし、塩嶺病院の診療管理棟の改修工事を、9月までに完成させます。同時に、厚生労働省などの認可を得るため、学校としての組織構築と必要な教材などの整備を行い、事務手続きを進めます。また、新たな看護専門学校の設置を周辺地域にPRをし、1月の生徒の募集に向けて準備をします。



おもな事業と予算のあらまし



ブランドロゴ



1 たくましい産業の創造

「工業活性化計画策定事業」(新規)

550万円

市内製造業の特徴や課題を把握し、今後めざすべき新分野を見極めるための調査を行い、平成26年度を初年度とする工業活性化計画を策定。工業振興施策のさらなる推進を図ります。

「産業情報交換会事業」(新規)

29万5千円

中京圏での企業訪問や懇談会による人脈を活かして自動車メーカー系列企業と市内企業の情報交換会を開催し、新たなネットワークの構築により新規受注の拡大を図ります。

「岡谷市中小企業融資制度」(拡充)

21億1,094万7千円

長引く景気低迷および中小企業金融円滑化法(通称)の終了に対応。「経営サポート借換資金」を創設し、企業の資金繰りの円滑化を図るほか、一部資金について、利子補給の期間を延長するなど、金融面から市内企業への支援を拡充します。

「産業観光推進事業」(新規)

90万円

昨年開催した全国産業観光フォーラムを契機として、産業観光への機運が高まるなか、産業観光に取り組む市内企業の施設改修などに助成を行い、新たな観光客の獲得と定着化を推進します。

「おかやブランドプロモーション協議会負担金」(新規)

110万円

おかやブランドブックに基づき、おかやブランドプロモーション協議会が諏訪湖ハイツにランニングステーションを設置する「美しい湖畔の体験」事業などに助成を行い、民と官が一体となり、知名度の向上、まちのにぎわいの創出を図ります。

2 輝く子どもの育成

「岡谷市不妊・不育治療助成事業」(拡充)

151万5千円

従来の不妊治療に対する助成に加え、不育症の治療に対する助成を創設。子どもを授けたいと願う人への支援を拡充します。

「子ども総合相談センター事業」(拡充)

1,715万3千円

発達障害を抱えた児童生徒に対し、より専門的な指導や支援を行う臨床心理士を新たに配置し、関係機関との緊密な連携により個々の状況に応じた総合的な相談、支援体制の充実を図ります。

「学校施設非構造部材点検事業」(新規)

600万円

地震発生時の落下物などにより致命的な事故が起こりやすい、体育館ほか学校施設の天井材や照明器具などの非構造部材を点検し、児童生徒の安全と避難所としての機能を確保します。

「通学路交通安全対策事業」(新規)

1,425万円

県や警察などと合同で実施した通学路の緊急点検結果に基づき、交差点改良やカラー舗装など、安全性の向上に向けた対策を実施し、児童生徒の登下校時の安全を確保します。



3 健康でいきいきとした市民生活の構築

「第2次岡谷市健康増進計画推進事業」(新規)

- **食のお悩み解決 テキスト事業(新規)** 29万5千円
ライフステージに応じたレシピを作成し、乳幼児健診などの各教室ほかで活用し、食育を推進します。
- **あるき太郎まちづくりウォーキング事業** 29万6千円
誰もが気軽に参加できる「花回廊 ウォーキングイベント」を開催し、市民一人ひとりの健康づくりに対する意識の高揚を図ります。

「いきいき高齢者スポーツ推進事業」(新規) マンパワー事業

スポーツ推進員が各地区に出向き高齢者向けスポーツのPRを行い、総合型地域スポーツクラブが実施している高齢者向けのスポーツ教室への参加を促進し、地区の枠組みを越えたスポーツ交流会などを開催することで、高齢者の健康づくり・生きがいづくりを推進します。

そのほか



「住宅リフォーム助成事業」 2,000万円

制度の一部見直しを行い定住を促進。耐震改修に伴うリフォームは助成を拡充し、住みやすい住宅環境の改善を図るほか、「おかぼんポイント」による助成の継続により、市内商店などの利用促進も一層推進します。

「地球にやさしい暮らし応援補助金」 1,900万円

自然エネルギーを有効活用する住宅への太陽光発電システムなどの設置に要する経費の一部を助成し、地球環境保全の推進を図ります。

「第4次岡谷市総合計画後期基本計画策定事業」 193万5千円

アンケートなどにより、市民のみなさんの意見を伺いながら、平成26年度を初年度とする第4次岡谷市総合計画の後期基本計画を策定し、基本的な施策を体系的に示し、活力と特色のあるまちづくりを推進します。

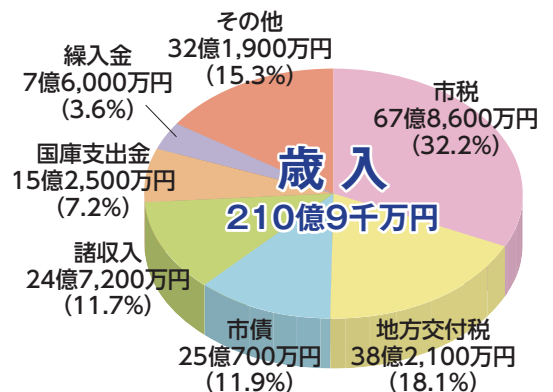
平成25年度予算

◆平成25年度予算一覧 ※前年度比較の△印は、減額を意味します

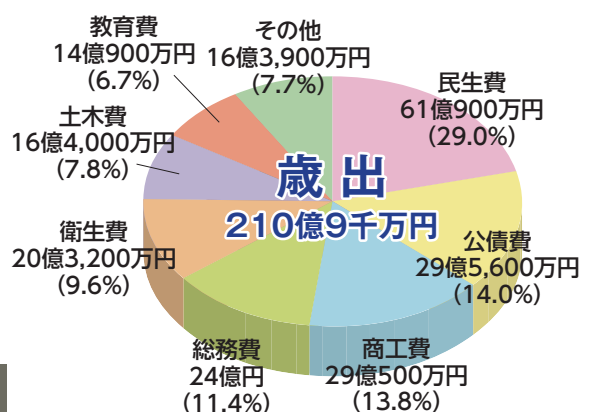
会計名	予算額	前年度比較	
一般会計	210億9,000万円	8億5,700万円	
特別会計	国民健康保険事業	50億6,930万円	1億9,710万円
	地域開発事業	4億6,560万円	890万円
	分収造林事業	2,160万円	0円
	霊園事業	1,750万円	330万円
	温泉事業	2,280万円	490万円
	訪問看護事業	4,030万円	30万円
	後期高齢者医療事業	6億4,090万円	40万円
	計	62億7,800万円	2億1,490万円
湊財産区一般会計	470万円	130万円	
企業会計	水道事業	12億5,895万7千円	△6,936万円
	下水道事業	27億6,091万1千円	646万円
	病院事業	86億30万7千円	13億1,918万3千円
	計	126億2,017万5千円	12億5,628万3千円
合計	399億8,817万5千円	23億2,478万3千円	

※企業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

◆歳入(市の収入) ※()内は構成比



◆歳出(市の経費) ※()内は構成比



問合せ●財政課(内線1531)・企画課(内線1521)